

神奈川県立西湘高等学校
令和8年4月7日(火) 第70回入学式

三寒四温の言葉のとおり、寒さと暖かさを繰り返しながら、少しずつ春へと向かう季節となりました。この良き日に、神奈川県立西湘高等学校第70回入学式を挙げていくことを、大変うれしく思います。

ただいま、342名の入学を許可いたしました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、心より歓迎いたします。また、保護者の皆様におかれましても、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

本日はご多用のところ、PTA会長 府川健一様、同窓会会長 田中保行様をはじめ、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様にご臨席を賜りました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、今、どのような気持ちでこの場に座っているでしょうか。これから始まる高校生活への期待や高揚感、そして少しの不安もあることでしょう。

本校には、体育祭や文化祭、修学旅行といった学校行事、さまざまな部活動、そして将来につながる学びがあります。その一つひとつの経験が、皆さんを大きく成長させていきます。

どうか、授業・行事・部活動のすべてに全力で取り組み、高い目標に向かって大きく羽ばたいてください。

ここで、高校生活を送るうえで大切にしてほしいことを二つお話します。

一つ目は、「変化に対応できる柔軟な考え方をもちこと」です。

本校では、プログラミング教育の取組を通して、論理的思考力や、協働して課題を解決する力を育てています。これからの社会は、簡単に将来を見通すことができない時代です。自ら考え、判断し、行動する力が求められます。変化を恐れず、しなやかに対応できる力を身につけてください。

二つ目は、「自分も他者も大切にすること」です。

これからの社会は、多様な背景や価値観をもつ人々と「ともに生きていく社会」です。違いに戸惑うこともあるでしょう。しかし、その違いは、新たな価値を生み出す出発点です。

誰もが安心して自分らしくいられること、そして、互いに尊重されていると実感できること。それが、学校という場の大切な土台です。

自分を大切にすると同時に、相手の尊厳にも目を向けてください。何気ない言葉や行動が、人を支えることもあれば、傷つけてしまうこともあります。だからこそ、想像する力を持ってください。「この言葉は、相手にどう届くだろうか。」「この行動は、誰かを置き去りにしていないだろうか。」そう問い続ける姿勢が、皆さん自身の人間性を育て、この西湘高校を、より温かく、より信頼される学校にしていきます。

本校は、卒業生にとって誇りとなる母校であり、地域の方々から信頼される学校でありたいと願っています。その学校をつくるのは、他でもない皆さん一人ひとりです。日々の学びに誠実に向き合うこと、周囲を大切にすること、その積み重ねが、学校の価値をつくっていきます。西湘高校の一員として、自信と誇りをもって、この三年間を過ごしてください。

新入生の皆さん。これからの三年間、皆さんは確実に成長していきます。その歩みは、決して一直線ではありません。三寒四温のように、行きつ戻りつしながらも、確実に前へ進んでいくものです。

大切なのは、他の人と比べることではありません。昨日の自分より、今日の自分が一歩前に進んでいるかどうかです。その一歩一歩が、皆さんの可能性を広げていきます。

皆さんの高校生活が、実り多く、かけがえのないものとなることを心より願い、お祝いの言葉といたします。

神奈川県立西湘高等学校
校長 杉崎志穂

